

相馬
ゆうこの

南千住レポート



まちづくり、
くらしの情報
を届けます



区議団控え室 荒川区荒川2-2-3区役所内5階 ☎:3802-4627
FAX : 3806-9246 / ✉:arajcp@tcn-catv.ne.jp
相馬ゆうこ事務所 荒川区南千住5-1-6・2階
☎・FAX:3807-4192

・HP→
・Twitter @m1010_yuko
・araken-nan.jugem.jp



浄水場跡地(6丁目)公園整備に向け工事を実施中

天王公園の改修と一体に公園整備が計画されている南千住浄水場跡地（6丁目）で、建物解体工事が始まっています。現在、北側の旧工業用導水ポンプ場と給水管理事務所を解体中で、工期は来年2月いっぱい予定です。



管理事務所を解体中



シートで覆われるのが導水ポンプ場



来年度は旧工業用水道事務所を解体、2025年度に遊戯広場の地下構造物を解体予定です。

アスベスト除去 27日まで実施 南千住浄水場は、三河島処理場の処理水を都東部の工業用水として送水する施設として、1962年（昭37）に着工、64年に竣工。1日あたり13.8万㎡を荒川、足立、墨田、江東などへ送水していましたが1997年（平9）に廃止。都は工業用水事業そのものを昨年度で廃止しています。導水ポンプ場は築59年で、外壁や屋根からアスベストが検出されたため、除去作業を12月27日（水）まで行っています。工事について気になること、お困りのことなどあればご相談ください。

公園整備について 区の整備計画にはこんなご意見も寄せられています。引き続き、**ご意見お寄せください** 区民の要望をよくきいて計画に活かすよう、区にもとめたい。

堤防側の道路を園路として組み込むようだが、通行に制限がかかり使い勝手が悪くなるので残してほしい

園内に水路をつくる、軽食などの屋台を設置しては



天王公園の水遊び場は戦後の木材貯蔵の池が子どもや大人の遊び場であったことを再現したもので、こうした歴史や文化を活かしてほしい

国の物価高騰対策…区民への支給はいつ？

住民税非課税世帯への7万円給付にくわえ、住民税均等割のみ課税世帯への給付などについて、政府は14日(木)に対策をまとめました。

非課税世帯への給付金の対象にならず定額減税の恩恵も十分受けられない「隙間」の世帯への支援として、「住民税均等割のみ課税世帯」に10万円給付を提案。

さらに、「非課税」と「均等割のみ」の子育て世帯へ、18歳以下の子ども1人あたり5万円を追加給付する、としました。



荒川区は1万円上乗せで8万円 (時事通信より)

住民税非課税世帯	住民税均等割のみ世帯	所得税・住民税4万円未満の世帯	所得税・住民税4万円以上の世帯
7万円給付 (給付済み3万円と合わせて10万円)	10万円給付	減税 + 引ききれなかった差額を1万円単位で給付	所得税3万円・住民税1万円の定額減税
18歳以下の子ども1人あたり5万円給付			
今年度中		来年度以降	

非課税世帯 給付は2月に 荒川区は11月会議で、非課税世帯へ国の7万円給付に1万円を独自に上乗せする補正予算を可決。支給準備をすすめていますが、対象世帯への案内は1月中旬、支給は2月中旬の見込みで、少しでも早い支給をもとめたい。政府は申請・支給でのオンライン活用を言っていますが、どうなるでしょうか。

住民税均等割のみ世帯と子育て世帯への追加給付は、政府は今年度中(2~3月)の支給開始を目指していますが、自治体への詳細な通知はこれから。またお知らせします。

定額減税 来年6月から 所得税3万円、住民税1万円の定額減税は、来年6月以降とし、納税額が少なく減税しきれない場合は、その差額を1万円単位で給付するとしていますが、暮らし応援のスピードが問われます。

	所得税 (1人3万円)	住民税 (1人1万円)
給与所得者	・6月の源泉徴収額から減税 (引き切れない分は、7月以降も順次減税)	・6月分徴収せず ・減税後の年税額を7月以降11カ月で均等徴収
事業所得者	・原則確定申告時に減税 ・前年所得など基に行う「予定納税」で減税も	・6月徴収分から減税 (引き切れない分は、8月徴収分以降も順次減税)
年金所得者	・6月支給時の源泉徴収額から減税 (引き切れない分は、8月支給時以降も順次減税)	・10月徴収分から減税 (引き切れない分は、12月分以降も順次減税)

※年収2000万円超は対象外 (時事通信より)



物価、エネルギー価格の高騰が続く中でも、昨年度の区の歳入(収入)は過去最高で、剰余金50億円を基金(区の貯金)に積み立て、基金総額は478億円に。自由に活用できる「財政調整基金」だけでも213億円にのびります。

区民の暮らし応援、荒川区に住んでよかったと思える独自の施策を積極的にすすめたい。



〈法律・生活相談〉 1月の定例法律相談日は 11日(木)です

ご要望やご相談などは随時ご連絡ください。事務所での定例法律相談は、毎月第2木曜18時から。平日の午後15時に法律事務所(北千住)でも可能です。お名前、電話番号等を下記の留守番電話に録音して下さい。

相馬 ゆうこ事務所 南千住5-1-6-2階 ☎3807-4192

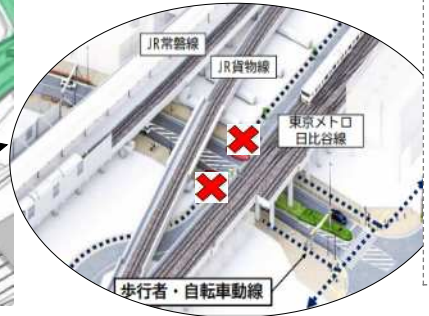
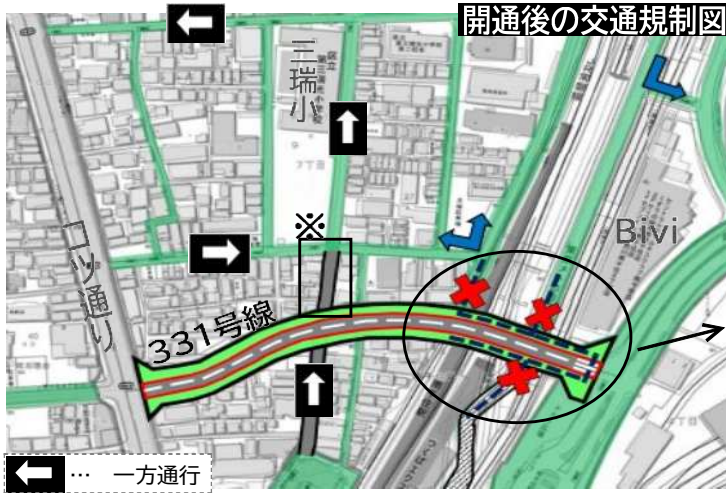


「331号線、開通後の交通規制はどうなるの？」

ご質問頂きました。「都市計画道路補助331号線が開通すると、サントクとメトロ日比谷線間の道路は車が通れなくなるようですが、南千住7丁目から車で駅へ行く場合は、どのように行けばよいのでしょうか？」とのこと。



南千住の東西をつなぐ「都市計画道路補助331号線」は2027年完成予定で、完成後の交通規制は左図のようになります。



高架下は掘り下げられ、
×部分は車両通行止め

7丁目～駅は コツ通り経由に

現在、7丁目から車で駅へ向かう場合、サントクとメトロ日比谷線間の道路（仲道区道）を歩いていく方が多いようです(①)。しかし、331号線開通後は車両通行止めとなり、また駅から三瑞小へ向かう道が一方通行のため、開通後は一度コツ通りへ出てから左折して駅ロータリーに入ることになります(②)。



補助189号線（国道4号～福太郎～汐入）は現在でも国道4号へ出るために混み合うことが多く、駅へ向かうための車でさらに混雑する可能性も。また、三瑞小の北側の狭い道路からコツ通りへ出る車がふえれば、コツ通りとの交差部分で出会い頭の事故がふえないかも心配です。

開通後の 安全対策も

331号線の北側の住民からは「車でララテラスへ行く場合もコツ通りへ出なければならなくなるのは不便」との声も。区は当初、交通規制図の※部分の一方通行を解除し相互通行にするよう警察と協議をすすめていましたが、沿道のみなさんから安全性を心配する声もあり、規制解除は断念。現在の計画となっています。



周辺に狭い道や一方通行も多く、三瑞小、南二中など学校もあり、今後の安全対策や通行の実状など、区としても検討が必要。



ウクライナ、パレスチナ…私たちがやるべきことは

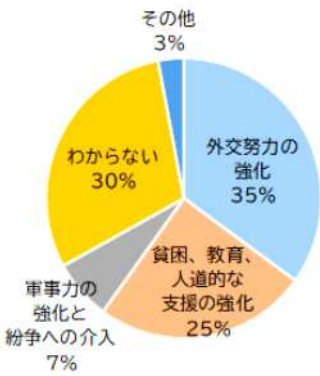
昨年2月に始まったロシアのウクライナ侵攻が終息しないまま、今年10月にはパレスチナのカザ地区でイスラエルとハマスの戦闘が激化。多くの市民が犠牲となり、世界中で停戦をもとめる声があがっています。

ウクライナ侵攻が始まった当初、日本でも「軍事力が必要」という声が多く聞かれ、政府も軍事力の強化に43兆円をつぎ込む方針を決定しました。しかし今、SNSなどを通じてパレスチナの実態が明らかになる中で、風向きが変わっているように感じます。



日本がやるべきこと「外交努力」が最多

国際NGO「セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン」が11月下旬に行った調査では、「世界の紛争を減らすため日本がやるべきこと」で最も多かったのは「外交努力の強化」35%、「人道支援の強化」が25%です。



「軍事力の強化」は7%にとどまり、年代別では70歳以上が3%なのに対し、20代は最多の10%に。戦争を身近に感じる世代ほど割合が低く、

若い世代で高くなっています。

また、30%が「わからない」との答えで、こうした現状が続くことへの不安や諦めもあるでしょうか。

「世界の紛争を減らすため日本がやるべきこと」は

	外交努力の強化	貧困、教育、人道的な支援の強化	軍事力の強化と紛争への介入	わからない
15～19歳	32%	29%	8%	32%
20代	29%	19%	10%	40%
30代	30%	22%	8%	37%
40代	33%	23%	7%	34%
50代	40%	25%	5%	26%
60代	42%	30%	4%	20%
70歳以上	44%	32%	3%	17%
計	35%	25%	7%	30%

※「その他」は割合

くらし支援と平和の取り組みこそ

区議団で行った区民アンケートでも「イスラエルのパレスチナ攻撃やロシアのウクライナ侵攻について反対表明を」とご意見を頂きました。日本からウクライナやパレスチナの人々に「あなたたちはひとりじゃない」と伝え続けること、戦争の現実を知ることが大切だと思います。

日本政府には軍事力強化ではなく、人道支援と平和の外交努力、国民のくらし支援を何よりもとめたい。みなさんとともに。



ご意見・ご質問頂きました ○クリスマス控えて…「『サンタクロースは、クリスマス以外は何をやっているの?』と子どもに質問されて困ってしまいました。」というママの声。どうなのかと調べてみると、フィンランドに住むサンタクロースは、一年中、子どもたちや体の不自由な方の施設などをまわっているのだそうです。また、世界に公認サンタクロースは180人いるそうで、毎年7月にデンマークのコペンハーゲンで試験があり、プレゼントの重たい袋を持って50mの全力疾走や3mの煙突登りをクリアし、体重は120kg以上が絶対条件だそうです。春も夏もトレーニングが大変なようで

